

令和5年4月吉日

一般社団法人 佐賀県作業療法士会 会員各位

一般社団法人 佐賀県作業療法士会  
会 長 山口 洋一  
学術局長 前田 憲志  
教育部長 井本 文也

## 令和5年度 現職者共通研修及びMTDLP 事例検討会のご案内

貴下益々御清栄の事と御喜び申し上げます。平素より当士会活動のご理解、ご協力頂き、感謝申し上げます。さて、下記要項にて令和5年度現職者共通研修を催いたします。

本研修会はハイブリッド開催（対面+ZOOM）にて実施いたします。

申込・参加についての注意事項（別紙）を必ず御確認の上お申し込みください。

〈記〉

主催：一般社団法人佐賀県作業療法士会

日時：令和5年5月28日（日）9：40～16：30（9：00～受付）

対面会場：医療福祉専門学校 緑生館（〒841-0074 佐賀県鳥栖市西新町1428-566）

9:00～9:35	受付	
9:35～9:40	オリエンテーション	
9:40～11:10	『作業療法生涯教育概論』 講師：竹下 宏史 先生 (医療法人智仁会 佐賀リハビリテーション病院)	『事例報告と事例研究』 講師：仙波 梨沙先生 (熊本保健科学大学)
11:15～11:30	受付	
11:30～13:00	『医療・介護・福祉と地域支援』 講師：米田 則幸先生 (NPO法人 ゆたたり)	『職業倫理』 講師：井本 文也 先生 (医療法人 醇和会 有島病院)
13:00～14:00	昼休憩	
14:00～16:30	事例報告（MTDLP 事例報告を含む）・事例検討	

受講料：1講座 1000円（受講講座分の受講料を指定口座へお振込ください）

**申込締切：令和5年5月13日（土）**

**入金締切：令和5年5月20日（土）**

<申し込み・参加についての注意事項> ※必ず目を通してください

●申し込み・受付について

①対象：日本作業療法士協会会員かつ各都道府県作業療法士会会員

②申込方法

右記 QR コードまたは佐賀県作業療法士会 HP 研修情報より可能です

※必ず協会番号の確認と、会員ポータルサイトの登録されているお名前で申し込みをお願いします。

漢字の字体が異なる場合でも協会への登録ができない場合があります。

③入金方法

申し込み後、下記の指定口座へ参加費の入金をお願いいたします。

入金時、依頼人名の欄に キョウツウ) 日本作業療法士協会番号 名前 を記載してください。



振込先

銀行名・支店名：佐賀銀行 (0179)・小城支店 (627)

口座種別・番号：普通・3075331

口座名義 (カナ)：一般社団法人 佐賀県作業療法士会 (シャ) サガケンサギョウリョウハウシカイ

※入金締め切り後、申込入金が確認でき次第研修会当日の Zoom 情報を送信いたします。

ID とパスコードは十分に管理していただき、他者との共有は行わないようお願いいたします。

また、万が一連絡がない場合には下記連絡先までご連絡ください。

●研修会について

- ・本研修会はハイブリッド (対面+オンライン) 開催を行います。会場参加からオンラインへの変更やオンライン申込から会場参加への変更は可能ですが、申し込み無しの参加はできません。
- ・会場参加者は、会場の収容人数、感染症の状況によっては対面研修を希望されても、リモート研修をお願いする場合がございます。予めご了承ください。
- ・オンライン参加の方は PC をご準備の上 Zoom アプリのインストールをお願いいたします。また動作の不具合等につながりますのでバージョンを最新にアップデートしてください。
- ・配布資料については研修会開催前までにメールにて送信いたします。  
当日の資料配布は行いませんので、各自印刷等準備をして、研修に参加されてください。
- ・参加受付、研修終了後のアンケートまたは確認問題をもって参加の確認となりますのでアンケートは必ず送信してください。

●その他

- ・諸事情等で参加が困難になった場合には下記連絡先までご連絡ください
- ・天災等にて研修を中止する場合は佐賀県作業療法士会 Facebook にて広報致します。
- ・日本作業療法士協会の生涯教育制度の担当者が当日会場に待機しております。  
ご相談がある方は、当日会場担当者へお問い合わせください。

【問い合わせ・連絡先】

佐賀県作業療法士会教育部 荒川千尋 所属：白石共立病院 e-mail : chibi308601@gmail.com

## ●生活行為向上マネジメントについて

MIDL P 研修は基礎研修（概論・演習）、実践者研修（実践・事例をまとめる）を共に修了することにより MTDLP 研修修了（平成 28 年度より呼称変更）となります。実践者研修の修了要件は、1 事例をまとめて県士会で開催される事例検討会での発表、または日本作業療法士協会の事例報告登録に登録し審査されること（登録だけでは修了になりません、審査されることが条件です）の 2 つの方法があります。基礎研修が終了した方は是非、実践者研修までお進み下さい。

## ■事例検討会の目的

- 1) 生活行為向上マネジメントを用いた事例発表を通して MTDLP の使い方を理解する
- 2) MTDLP を通して生活行為に焦点を当てた介入方法を学ぶ
- 3) MTDLP を用いた事例を通して作業療法士のマネジメント力を身に付ける
- 4) 事例を提供することにより、自己の介入を客観的に振り返る
- 5) MTDLP はどの領域にも適用できるはず。領域の垣根を越えた OT の共通ツールについて語り合うこと

## ■事例スケジュール（1 事例につき発表・検討含め 45 分とする）

- 1) 事例報告 10 分
- 2) グループ討議 20 分
- 3) グループ討議のまとめ 15 分

## ■事例検討会の資料

- ①抄録：事例の概略や MTDLP の経過をまとめたもの A4（4000 文字程度）
  - 1) タイトル
  - 2) 報告の目的
  - 3) 事例紹介
  - 4) 作業療法評価
  - 5) 介入の基本方針
  - 6) 作業療法実施計画
  - 7) 支援
  - 8) 結果
  - 9) 考察※項目及び文字数などは日本作業療法士協会事例登録に準じております。
- ②MTDLP マネジメントシート・・・A4 で 1 枚
- ③生活行為課題分析シート

※①②は事例検討会で必須の書類です。③については必須ではありませんが事例登録の際に必要なになりますので事例登録をお考えの方は出来る限り作成することが望まれます。

※提出いただいた書類は参加者へ配布させていただきますので個人情報には留意して作成してください。

※検討会当日の報告はパワーポイントを使用して発表しても構いません。参加申し込みの際に使用の有無をお知らせください。

## ■その他

- 1) 発表者は事例発表の際、対象者から事例発表に関する説明と同意を必ず得てください。  
（当日同意書は必要ありません。会員各自で管理してください。事例登録には必要となります）
- 2) OT 協会生涯教育、事例報告登録（MTDLP 版）に登録するために必要な書類があります。  
※事例に関わる、実践に入る前に MTDLP 版の事例報告書作成の手引きを一読することが大事です  
（※協会及び県士会のホームページよりダウンロードできます）